

世界の学位論文のインターネット公表事情 －ETD 2013報告－

Satoshi Nakayama
(University of Tsukuba)

2013/10/29 DRF10

ETD2013という国際会議で、学位規則の改正やその影響についてなど、日本の状況について発表してきました。また世界の学位論文の公表事情について知ることもできましたので、本日はその報告ということで発表させていただきます。

What is ETD?

- Electronic Theses and Dissertations

What is ETD2013?

- 16th International Symposium on ETD
- 9/23-26 in Hong Kong (first time in Asia)
- Co-organized by NDLTD & HKUL
- Registered : about 140 people

Hong Kong / China / Taiwan / Japan / India / Bangladesh
USA / Canada / Brazil / UK / Germany / Bulgaria / Australia
Oman / UAE / Zimbabwe / Kenya, etc

ETDとはElectronic Theses and Dissertationsのことで、日本語では「電子学位論文」となります。

ETD2013は正式名称を「第16回ETD国際シンポジウム」といいますが、期間中、会場では「Conference」という言い方をしていましたので、ここでは「国際会議」と表現します。毎年1回、ETDに関する事例や諸問題を報告、議論する場がETD国際会議です。昨年はペルーで行われましたが、今年は9月23日から26日まで、香港で開催されました。アジアでは初開催となります。主催はNDLTD(Networked Digital Library of Theses and Dissertations)という国際組織で、毎年ホスト国の大学図書館との共催という形をとり、今年は香港大学図書館との共催でした。主催者発表では会議登録者は約140名で、地元の香港や中国、日本などのアジア各国、北米、南米、ヨーロッパ、アフリカなどから参加がありました。



会場となったのは香港大学ではなく、写真の香港中央図書館です。



会議はテーマによって分科会に分かれ、私は「National Initiative」のセッションで、約40名の前で、日本における電子学位論文ネットワークの可能性について発表しました。こちらは実際の発表風景です。私を含む各発表資料はETD2013のサイトにアップされていますので後でアクセスしてみてください。

(<http://lib.hku.hk/etd2013/about.html>)

Activities of the IR Community as Infrastructure

The Largest Community in Japan

Digital Repository Federation (DRF)

The screenshot shows the DRF website interface. The header includes the DRF logo and the text 'Digital Repository Federation (In English)'. Below the header, there is a navigation menu on the left and a main content area. The main content area is divided into two columns. The left column contains a 'Digital Repository Federation' section with a description of the organization and its core activities. The right column contains a 'DRF Monthly' section with a list of recent publications, including 'No.49 August, 2013' and 'No.42 July, 2013'.

DRF Home page⁵⁾ and DRF Monthly⁶⁾

5) <http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?Digital%20Repository%20Federation%20%28in%20English%29>

6) http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?DRF_Monthly

これは発表資料の1枚ですが、学位規則改正の背景にはコミュニティのインフラが整っていたこともあるという話の流れの中で、DRFの活動や、学位規則改正対応のページのことなども紹介しました。

Brazil

ETD

- first step (choice) for digital publication

BDTD (Biblioteca Digital Brasileira de Teses e Dissertações)

- National consortium for ETD in Brazil
- established by IBICT in 2001
- 97 institutions & 220 thousands metadata(May, 2013)

TEDE

- Software for ETD collection
- developed & distributed by BDTD
- great contribution to institutions in Brazil

私自身は発表以外は他のセッションに参加し、他国、他地域、他機関の事例を聴いてきましたが、時間の都合上すべては報告できませんので、今日は2例報告させていただきます。まずはブラジルの状況です。これはブラジルに限った事ではありませんが、他の国では学内成果物の電子化といった場合、まずその対象は学位論文、というところが多かったです。最初のステップにして最初の選択肢。機関リポジトリを構築したらまずは学内紀要から公開、というのは日本の特徴だと思います。

ブラジルにはBDTDというETDのためのナショナルコンソーシアムがあり、各機関から集められたETDの統合検索も提供しています。BDTDは2001年に情報科学局によって設立され、現在は97機関が参加し、22万件の学位論文メタデータが登録されているということです。

BDTDがETDに特化したソフトウェアとして開発、配布したのがTEDEです。いまだ97機関の多くがTEDEを利用しており、ブラジルでは重要なツールの一つとなっています。

Brazil

Moving from ETD only to ETD+

- TEDE & DSpace etc
- Some problems
 - Data duplication
 - No integrate search
 - No future plan
- Statistics
- Metadata with one language

ETDオンリーのコンテンツから、ETDプラス、つまり他の学術情報コンテンツも一緒に、と考えた時にはいろいろと問題があるようです。TEDEはETDに特化したソフトウェアと申し上げましたが、学位論文はTEDEで、他のコンテンツは例えばDSpaceで、という選択をする機関もあります。そのような場合に、二つのシステムでデータ重複がある、システム間の統合検索が用意できていない、将来プラットフォームをどうしようという計画がない、統計もどう取っていいかわからない、という問題を抱える機関もあり、少し混乱状態だそうです。また、データは最終的にBDTDや他の国際的なDBにハーベストされる、その際、いかに発見してもらえるかが重要だというのは理解しているにもかかわらず、一つの言語、つまりポルトガル語でしかメタデータを作成していない機関があるのは驚きだ、と発表者は話していました。

ProQuest Dissertations and Theses(PQDT)

ProQuest Dissertations and Theses — Full text is the world's most comprehensive collection of dissertations and theses.

PQDT — Full Text includes millions of searchable citations to dissertation and theses from around the world from 1861 to the present day together with over a million full text dissertations that are available for download in PDF format.

More than 70,000 new full text dissertations and theses are added to the database each year through dissertations publishing partnerships with 700 leading academic institutions worldwide and collaborative retrospective digitization of dissertations through UMI's Digital Archiving and Access Program.

From "About" of ProQuest Dissertations & Theses Full Text

もうひとつ、これは国の事例ではないのですが、いろいろな地域の方からProQuestという言葉が聞かれたので事例として報告します。ちなみにProQuestはETD国際会議のトップスポンサーでした。

筑波大ではPQDT Full textというデータベースを契約して利用に供していますが、これは主に北米の大学の学位論文の検索や本文入手に使えるものです。PQDTのサイトの説明によると、700機関から年間7万件以上のフルテキスト学位論文の提供を受けて、データベース構築と提供を行っています。ProQuestの方や、このサービスを使っている大学の事例を聞き、収集や提供の仕組みを知ることができました。

ProQuest ETD Administrator

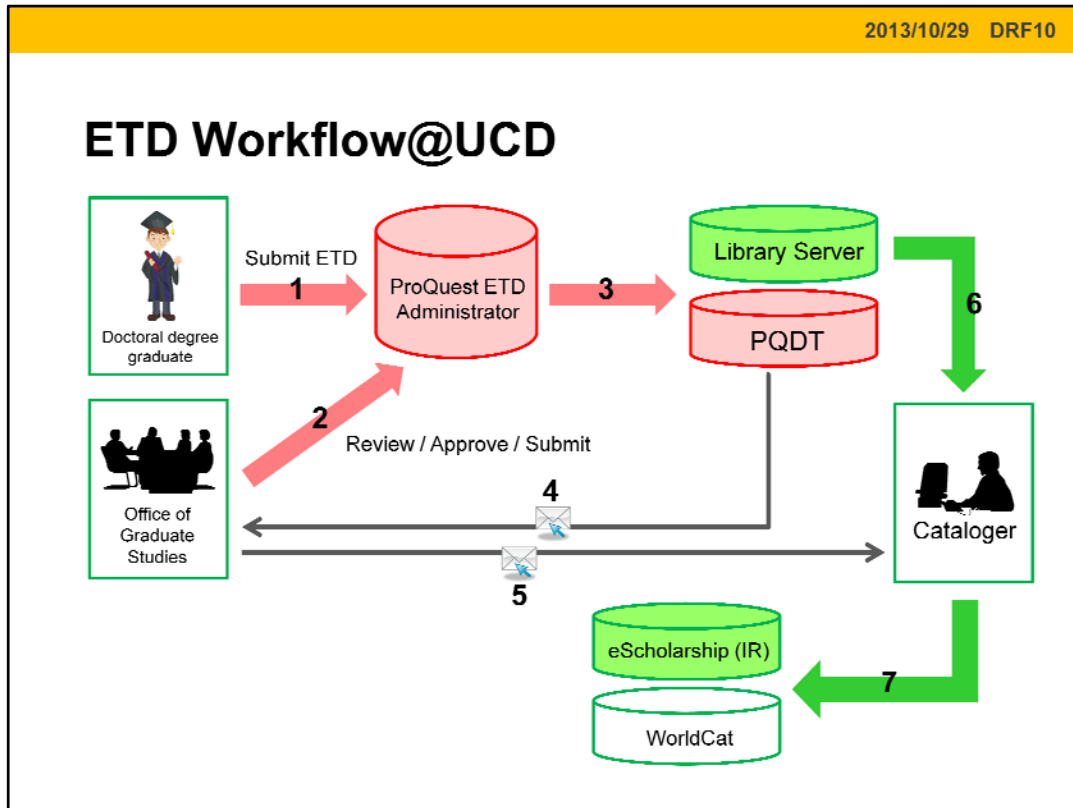
What is ETD Administrator?

- “the best workflow tool for publishing graduate works”
- Web-based ETD Submission + Management tool
- 600 universities use this tool

Student + Administrator Process

ProQuestはETD Administratorというツールも無料で提供しています。サイトの説明によると、学位論文の公開(出版)に最適なワークフローツール、Web上でETDの提出と管理が可能なツールで、600機関が利用しているというものです。

このツールは学位を授与された学生と機関の管理者、両者のプロセスによって成り立つものです。



カリフォルニア大学Davis校の事例報告ではわかりやすいフローの説明がありました。

1. まず学位取得者はETD Administratorに対してETDを提出します。
2. 大学院オフィス(機関管理者)はETD Administratorにアクセスして、そのETDの確認、承認を行います。
3. 承認されたデータは自動的にPQDTに登録され、条件に沿って公開されます。それと同時に図書館のサーバにも同じデータが送られます。
4. PQDTに登録されると管理者にアラートメールが届きます。
5. メールを確認した管理者は、図書館の担当者、例えば目録担当者に連絡します。
6. 連絡を受けた目録担当者は、図書館サーバからETDデータをダウンロードして、
7. 機関リポジトリやWorldCatのデータとして利用します。

日本ではまず各機関が作ったデータをハーベストしていくのに対し、この仕組みでは逆の流れになっていると思います。特に北米の大学は、ProQuestのこのようなツールにお任せ、という感じなのかもしれません。

Reference

ETD2013@Hong Kong

<http://lib.hku.hk/etd2013/about.html>

NDLTD (Networked Digital Library of Theses and Dissertations)

<http://www.ndltd.org>

HKU (The University of Hong Kong) Libraries' IR "The HKU Scholars Hub"

<http://hub.hku.hk/>

ETD2014@Leicester

<http://www2.le.ac.uk/library/etd2014>

BDTD: Biblioteca Digital Brasileira de Teses e Dissertações

<http://bdttd.ibict.br/>

ProQuest ETD Administrator

http://www.proquest.com/en-US/products/dissertations/etd_administrator.shtml

Monthly DRF No.46

<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?%E6%9C%88%E5%88%8ADRF>

短いですが、報告は以上です。2013年11月に刊行予定の月刊DRF46号には、インドの事例と香港大学のシステムについての報告記事を書きましたので、そちらもご覧下さい。ご静聴どうもありがとうございました。

(参考)

ETD2013@Hong Kong

<http://lib.hku.hk/etd2013/about.html>

NDLTD (Networked Digital Library of Theses and Dissertations)

<http://www.ndltd.org>

HKU (The University of Hong Kong) Libraries' IR "The HKU Scholars Hub"

<http://hub.hku.hk/>

ETD2014@Leicester

<http://www2.le.ac.uk/library/etd2014>

BDTD: Biblioteca Digital Brasileira de Teses e Dissertações

<http://bdttd.ibict.br/>

ProQuest ETD Administrator

http://www.proquest.com/en-US/products/dissertations/etd_administrator.shtml

Monthly DRF No.46

<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?%E6%9C%88%E5%88%8ADRF>